

藤波こども園

令和7年度 園長だより No.7

令和8年2月5日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

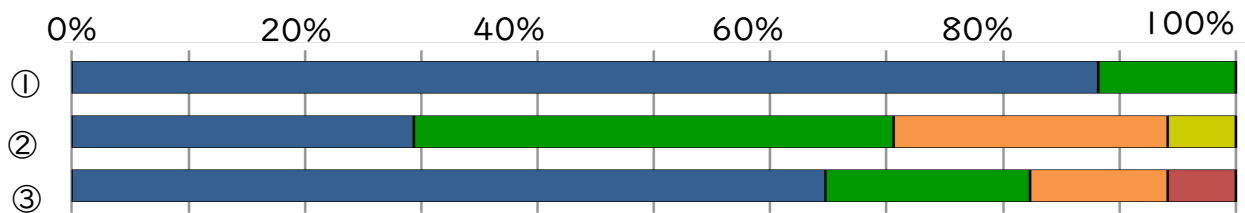
子どもたち 日々の園生活を楽しんでいます

12月には「藤波こども園の教育・保育についての評価」にご協力いただき、ありがとうございました。その結果についてお知らせします。

■ できている ■ ほぼできている ■ あまりできていない ■ できていない ■ わからない

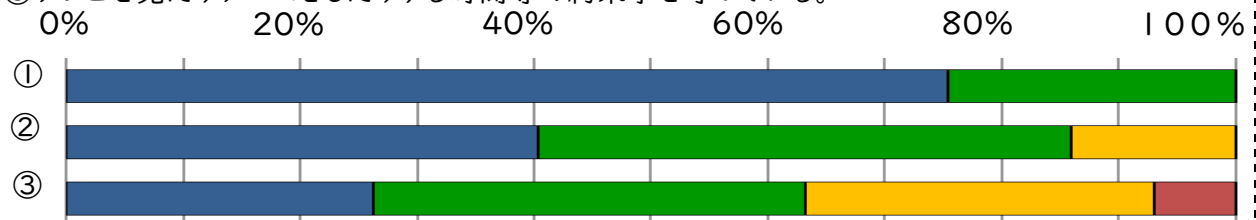
【0・1・2歳児 子どもの様子】

- ①子どもは喜んで園に行き、楽しく生活している。
- ②子どもは、「早寝・早起き」ができています。
- ③毎日、朝ごはんを食べている。



【3・4・5歳児 子どもの様子】

- ①子どもは喜んで園に行き、楽しく生活している。
- ②子どもは、「早寝・早起き」ができています。
- ③テレビを見たりゲームをしたりする時間等の約束事を守っている。



【教育内容】【保護者として】については、ほとんどの項目で、100%近くの方が「できている」「ほぼできている」と回答されていました。上のグラフが示すように、子どもにとっても親にとっても努力が必要な「早寝・早起き（規則正しい生活）」や「テレビを見たりゲームをしたりする時間等の約束」に関して心配な結果が出ています。健やかな成長のためには生活リズムを整えることの大切さや、長時間のゲームの悪影響について、よく言われていることです。今一度、お子さんの様子について振り返っていただければと思います。

2面、3面は自由記述の内容です。当園のホームページに全項目の回答結果を掲載しています。



意見感想	園より
<p>【乳児】</p> <p>■園での「おたより」や「お知らせ」「連絡帳」などが電子アプリでできたらいいと思う。</p>	<p>■「園長だより」だけはホームページに載せていますが、他はシステム上の問題や、連絡帳への記入の状況を考えると移行は難しく、紙ベースでの対応をお願いします。</p>
<p>【幼児】</p> <p>■他園に比べて行事が少ない。</p> <p>■写真の販売を増やしてほしい。</p> <p>■自然な表情の写真を使ったアルバムを園で作ってほしい。</p> <p>■卒園アルバムはかっちりとした素材のアルバムにしてほしい。</p> <p>■おたよりの写真がはっきりせず、あまりわからない。</p> <p>■運動会など子どもたちの力でやって失敗も学ぶべきとは思いますが、成功するようにサポートがあってもよいと思った。うまくいかない子がいてかわいそうだった。</p> <p>■アンケートは意見回収BOXでの回収にしてほしい。</p>	<p>■当園ではそれぞれの年齢や成長段階に合わせて保育活動を計画し、取り組んでいます。また、観劇などを除いてほとんどの行事に対しては子どもたちが主体的に取り組めるよう、子どもたちの声をひろいながら、ある程度の時間をかけて計画、実行しており、現状の課程で子どもたちの成長を感じているところです。また、特に私立園の場合、それぞれの方針等に沿って運営しており、他の私立園とは異なる場面も出てくることをご理解いただきたいと思います。</p> <p>■写真の販売についてはアンケートへの記述以外にも伺っているところで、検討してはいますが実現には至っていません。行事の写真については業者さんに撮影と販売をお願いしていますが、日常の写真を販売しようとした場合、その事務作業にかなりの時間が必要になることや、保育中に写真撮影に集中しなくてはならないことなどを他園の保育士さんから聞きます。その上で取り組んだ場合、当園が優先している保育への取組が薄くなることを懸念します。</p> <p>■卒園アルバムはPTA予算で作成していただいております、価格のことを考えると素材の変更はできかねます。</p> <p>■おたよりの写真がわかりにくいとのことですが、撮影技術や印刷機械によるものと思われます。改善できる範囲で努力します。</p> <p>■運動会に携わった職員で振り返ったのですが、子どもたちの“失敗”を悔やむ姿に関する記憶がなく、どの場面のことなのかが定かではありません。運動会については何をするか、どのようにするかなどを子どもたちと保育者が相談して取り組んでいます。内容をそれぞれの子どもが考えるプログラムでは、クラスによっては個人によって取り組む内容も異なってきます。相談も含めて取組の過程で保育者はサポートしていますが、子どもたちには挑戦する気持ちや頑張る姿を認めていただければと思います。</p> <p>■匿名性が失われることを懸念されているのかと思いますが、無記名での様式で回答いただいております、「乳児」と「幼児」の区別はわかりますが、回答いただいた方の特定はしていません。無記名であるために、詳しく聞くことや個別に回答できていないことに憂慮しているところです。</p>

※その他、園へのねぎらいのお言葉や、子どもたちの微笑ましい様子などを次のように書いていただきました。

同様の言葉、同様の内容についてはまとめて掲載し、 にその人数を示しています。

【乳児】

- ・毎日登園するのを楽しみにしていること
- ・コミュニケーション能力等、心身共に成長したこと
- ・給食を楽しみにし、給食を通じて偏食がなくなったと感じていただいていること
- ・安心して預けることができると感じていただいていること
- ・園児のありのままを受けとめ、丁寧に関わっていると感じていただいていること
- ・連絡帳や送迎時のお話で、園での様子をわかりやすく伝えていただいていること
- ・保護者の悩みを快く聞いていると感じていただいていること



【幼児】

- ・毎日楽しく、のびのびと充実した園生活を送っていること
- ・心身共に成長したこと
- ・縦割りホームで異年齢の子と関わり、年上の子への憧れを抱いていること
- ・子どもさんが給食をおいしいと感じ、おかわりをして食べていること
- ・おたよりなどで園の様子がわかること
- ・日本らしい行事を通してよい経験をしていると感じていただいていること
- ・職員が、子どもさんの思いやペースに寄り添って温かく関わったり、年長児が年下の子を尊重して待っていていたりしていると感じていただいていること
- ・職員が、保護者の方に丁寧に対応していると感じていただいていること



【この紙面に掲載するのは気恥ずかしいのですが、次のように書いていただいた方がおられました。原文のままです。】

先生方にはいつも本当にお世話になり感謝しています。子ども達との関わりのなかで良い方向へ導いてくださっていること、子どもの様子をみていても伺えます。藤波こども園の先生の素晴らしいところは、子どもたちとの関わりを本当に大切にされているところだと感じます。いつも遅くまで保育をお願いしているのですが、ある日、いつものようにお迎えに行ったら玄関で子どもの帰り支度を待っている時、一人の先生が仕事を終えられ帰られる際に、子どもがろうかで帰り支度をしている姿をじっと見守り待っていてくださり、支度ができると自然と声をかけてさよならの挨拶をしてくださいました。クラスもホームも違い、関わることの少ない先生でも子どもの名前を覚えて話しかけてくださり、先生も仕事を終えて早く帰られたいであろうに、ずっと待っていてくださった姿に関心力の表れを感じました。先生一人だけに留まらず、帰られる先生方みんなが同じように、子どもを待ってから声をかけ、子どもが下駄箱に向かう姿を見守ってから先生も帰られるんです。ささいな姿ですが、とても子どもへの愛情を感じました。

絵本 大好き ～どれを借りようかな～

先日、滋賀で活動されているプロのアナウンサーと歌のお姉さんに藤波こども園で絵本の読み聞かせをし



お話、次はどうなるのかなー

ていただきました。手遊びうたもあって子どもたちはお姉さんたちと一体になり、ノリノリで楽しんでいました。お姉さんたちは『滋賀絵本読み聞かせプロジェクト』として県



内の多くの園を訪問されており、高島市では「株式会社 澤村」

手遊びうたを楽しむ子どもたち

様の協賛で活動

されています。絵本読み聞かせプロジェクトを展開される中で、次のような価値を意識しながら取り組んでおられるとのことでした。

- ・絵本の読み聞かせをしてもらう子どもたちに、豊かな感性や想像力などが身につく。
- ・読み聞かせをすることで親子のコミュニケーションを図れる。
- ・言葉をたくさん聞いたり、言葉からたくさんのかたちを想像したりすることで語彙力を高めることができる。

藤波に限らずどの子どもも同じでしょうが、子どもたちは絵本が大好きな



朝の会と帰りの会にも“絵本”

ようです。藤波こども園では毎週金曜日、子どもたちは“絵本袋”を持って登園します。そして幼児は絵本コーナーに行



絵本コーナーで選ぶ幼児

き、1週間、家で見る絵本を借りていきます。本を借りるのは幼児だけではありません。乳児は部屋に並べられた臨時の“絵本コーナー”から読みたい本を



1冊選び、借りて帰ります。きっと持ち帰ってお家の人に1週間、読んでもらうのでしょう。お気に

「この本、借してくださいー」

入りの本を見つ

けて、とてもうれしそうな表情をしていました。

月組の子どもたちは園の絵本コーナーから借りるだけでなく、毎月、安曇川図書館に行って絵本を借ります。たくさんの中から1冊の絵本を選ぶ



安曇川図書館『本の森探検』

のにかなり迷って

いましたが、それも楽しみの1つのようでした。

1面に保護者アンケートの結果をグラフにして載せましたが、テレビを見たりゲームをしたりしている時間が、基準はありませんが長くなっているように感じます。お家の方にとっては1日のお仕事が終わったのお疲れと、夕食や翌日の準備などでたいへんかと思いますが、子どもさんはやがて大きくなります。“乳幼児の今しかできない読み聞かせ”を、是非楽しんでいただければと思います。